

平成20年 9月議会定例会



平成20年9月議会定例会は、9月9日から22日までの日程で開かれました。

一般質問は11日・12日の2日間行われ、5人の議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議案審議は22日に行われ、提出された21議案は全て原案通り可決されました。

今議会で可決された議案等の概要

(紙面の都合で内容は一部省略してあります)

平成20年度 一般会計補正予算

既定予算総額に1億5206万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額を39億532万1000円としました。

歳出の主な内容は、総務費：携帯電話不通話地域解消事業(佐須地区)6343万9000円、農村楽園基金元金積立3000万円、戸籍総合システム導入事業1680万円、情報通信基盤整備事業実施設計(光ファイバー)500万円、衛生費：クリアセンタ1炉内耐火材修繕工事202万3000円、簡易水道特別会計繰入金178万5000円、農林水産業費：原油価格高騰対策支援事業補助金435万6000円、公有林造林事業(就労支援対策)495万7000円、耕せふくしま遊休地

再生事業補助金179万5000円、農業集落排水事業特別会計繰入金348万9000円、戦略的産地づくり総合支援事業補助金△323万6000円、商工費：村商工業振興資金利子補給事業補助金150万円、土木費：道路補修人夫賃金(就労支援対策)797万9000円、教育費：白石小学校会議室改修工事347万円、白石小学校備品購入費137万9000円、公民館耐震補強改修計画策定業務委託431万1000円、白石小学校会議室増設工事△870万円などです。

これらを賄う財源として、国県支出金、分担金・負担金、繰越金、村債等を充当しています。

平成20年度 飯館村国民健康保険 特別会計補正予算

事業勘定の既定予算の総額に616万円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億8499万3000円に、診療施設勘定の既定予算の総額に23万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額を9235万8000円としました。

事業勘定の主な歳出は、療養給付費交付金返還金(平成19年度精算分)616万円などで、財源は前年度繰越金を充当しています。

診療施設勘定の主な歳出は、歯科診療用の備品購入費18万3000円などであり、その財源は歯科診療収入を充当しています。

平成20年度 飯館村簡易水道事業 特別会計補正予算

既定予算の総額に178万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億7959万8000円としました。

歳出の主なものは、滝下浄水場の源水流量計修繕料

178万5000円です。これらの財源は一般会計からの繰入金を充当しています。

平成20年度 飯館村農業集落排水事業 特別会計補正予算

既定予算の総額に348万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額を7000万7000円としました。

歳出の主なものは、草野処理場の「ばっき攪拌(かくはん)装置分解」などの修繕料348万9000円です。

財源は一般会計からの繰入金を充当しています。

飯館村企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例

工場立地法に定める緑地面積率等を緩和し、積極的

な設備投資や外部からの企業立地をとおし、地域経済の活性化並びに雇用の拡大を図るものです。

具体的には緑地面積率は全国一律20%以上を10%以上に、環境施設面積率は全国一律25%以上を15%以上に、それぞれ緩和するものです。

議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

飯館村特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正により、他の行政委員会の報酬と明確に区分するため、関係条文中「議員の報酬」をそれぞれ「議員報酬」に改めるものです。

公益法人等への職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例

公益法人等への一般職の

飯館村営住宅条例の一部を改正する条例

地方公務員の派遣等に関する法律の一部改正に伴い、法律の題名及び語句の改正を行うものです。

平成19年度の繰越事業で建設した「白石住宅5戸」のうち、2戸は「白石教員住宅」として管理するよう3月定例会で条例の一部改正を行ったところですが、諸事情により、教員住宅の2戸については、公営住宅法に基づかない住宅として管理するため、所要の改正を行うものです。

飯館村使用料条例の一部を改正する条例

「白石教員住宅2戸」を、「公営住宅法に基づかない住宅」に移管するため、使用料の改正を行うものです。

飯館村家畜導入事業等資金供給事業基金条例を廃止する条例

この条例は、国の家畜導入事業(農協有)が、廃止されましたので、今回条例を廃止するものです。

飯館村道路線の廃止

村道大北前乗線を、県営ふるさと林道緊急整備事業で整備するため廃止するものです。

相馬地方土地開発公社 定款の変更

相馬地方土地開発公社定款の変更について、民法及び公有地の拡大の推進に関する法律の一部改正による語句等の改正です。

平成19年度 一般会計歳入歳出決算

平成19年度 国民健康保険特別会計 歳入歳出決算

平成19年度 診療所特別会計歳入歳出決算

平成19年度 簡易水道事業特別会計 歳入歳出決算

平成19年度 老人保健特別会計歳入歳出決算

平成19年度 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

平成19年度 介護保険特別会計歳入歳出決算

これらは、平成19年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定です。

一般会計の決算額は、歳入総額40億8139万9000円、歳出総額38億3247万2000円で、歳入歳出差引2億4892万7000円の黒字決算です。そのうち、繰越明許費の財源繰越額9139万3000円を差し引いた実質収支は、1億575

3万4000円です。その中から、財政調整基金に8000万円を積み立てています。

追加議案

人権擁護委員候補者推薦

人権擁護委員として、菅野治さん(小宮)を候補者に推薦したいので、議会の意見を求めるものです。

地方公共団体の財政の健全化判断比率報告

昨年制定された地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成19年度決算に係る「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」、「資金不足比率」の5つの指標について、監査委員の意見書を付し報告するものです。

村長村政報告

(紙面の都合で内容は一部省略してあります)

いいたて夏まつり

7月26日、村民の森あいの沢を会場に開催しました。

当日は、あいにくの雨模様となり客足が心配されましたが、家族連れや団体など、およそ1700人が会場を訪れ、終日賑わいをみせていました。

今年のテーマは、昨年に引き続き「夏だ！飯館牛牛丼・焼肉フェア」とし、飯館牛の消費拡大と地場産品の販売など、本村のPRと交流に努めました。

また、新たなイベントの「行政区対抗どじょうすくい」は、行政区のみならず、来場者が一体となり、今では珍しい「どじょうすくい」に歓声を上げ、大いに楽しんでいました。

実行委員会をはじめ各関

係機関団体、さらには多くのボランティアの皆様に感謝と御礼を申し上げます。

飯館村総合防災訓練

9月7日、白石小学校グラウンドをメイン会場に実施しました。雨の中でしたが、最後まで真剣に取り組んでいただきました。

今年、従来の訓練内容を直し、「発災型対応避難訓練」を中心に実施しました。

この訓練は、より実践を想定したもので、メイン会場の白石小学校のほか、草野地域、飯樋地域、白石地域の3地域でも訓練を行いました。

さらには、今年新たに白石小学校グラウンドにおいて、現地災害対策本部設置訓練も行われ、行政と消防団、地区関係機関団体が連携し、有事を



▲障害物除去訓練の様子(白石地区)

想定した訓練に取り組んでいたようです。

情報通信基盤整備事業(光ファイバー)

6月議会で実施設計の予算を承認していただきました。その際、議会の方からインターネットを活用しない村民に対する活用対策と、行政側としての活用対策を十分検討する旨の課題をいただきましたので、NTT東日本と協議し、インターネット回線とは別に、村独自の情報を村民に流すことができる回線を1本追加する計画を検討しました。回線を一本追加す

農業委員会委員選挙

7月1日告示、7月6日投票の日程でしたが、定数14人のところ、14人の立候補であったため無投票当選でした。

なお、各団体からの推薦委員4人と合わせ、18人の新農業委員体制が7月20日よりスタートしています。

国民健康保険税

平成20年度の国民健康保険税の課税については、

後期高齢者医療制度の創設もあり、国保での医療分の世帯数が1428世帯より269世帯減の1159世帯です。税額は、2億2900万6400円から1億1868万8200円減額し、1億1031万8200円です。

また、新たに追加された後期高齢者支援分は、世帯数は同じ1159世帯で、税額が6572万9700円となり、約5300万円ほど国保税の集める金額は少なくなりました。

なお、後期高齢者の方では、現在のところ、特別徴収で2400万円、普通徴収で1350万円の計3700万円ほど集めなければなりません。1159世帯のうち介護分の世帯数が810世帯、税額が2618万2300円で、前年度より29世帯の減額、税額で58万2000円の減額となっています。

このことは、国保会計等の健全化を図るためですが、今後の医療費の動向に注視していきたいと思えます。最も大切なことは、一人ひとりが「健康を維持する」ということ

とが保険税を抑えることにつながりますので、今後とも健康づくりに努力していきたいと考えています。

個人住民税の公的年金からの特別徴収

平成21年10月から開始されることに伴い、年金等支払報告書が電子化されます。

全ての情報が經由機関である、社団法人地方税電子化協議会を通して、「地方税ポータルシステム」(通称「エルタックス」)を活用して行われるため、今年度から「エルタックス」への加入が必要となっています。

今回、9月補正予算に導入費用等の必要経費を

計上しました。

ごみ処理対策

粗大ごみの受け入れについては、昨年10月から有料化として受け入れていきます。8月末まで、毎月第2月曜日の定例受け入れが11回、お盆前に臨時の受け入れが1回、合わせて12回行いました。

搬入状況は、車両台数で65台あり軽トラックでの搬入が一番多く、3070キログラムの受け入れを行いました。

粗大ごみ搬入券の販売は商工会に委託していますが、現在まで49セット、245枚の販売枚数があり、今後の搬入が徐々に増加されるものと見えています。

また、有料化に伴い、一番心配されるのが、不法投棄が増えることです。そのため不法投棄の監視については、各行政区から選出の村環境衛生推進委員にも十分お願いして

いるところです。

美しい村を維持・存続させるためには、村民一人ひとりが、ごみを少なくして、絶対に不法投棄を行わないように心がけることや、不法投棄をされないように、日頃からきれいな環境にしておくことが大切です。

交通事故防止及び防犯運動について

交通安全運動としては、一昨年8月13日、二枚橋地内において死亡事故が発生してから2年が過ぎました。8月末現在で、交通安全事故ゼロ期間が749日となっています。

飯館村生活安全協議会の交通安全本部としては、来年5月10日で達成予定の死亡事故ゼロ1000日を目標に、関係機関と常に連携をとりながら、交通安全の啓発運動等を行ってまいります。

なお、9月21日から30日までの10日間、「秋の全

国交通安全運動」が展開されます。

現下の厳しい交通事故情勢に的確に対処するため、運動の重点は、①全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、③飲酒運転の根絶です。

村内から痛ましい交通事故を1件でも少なくしていくためには、村民一人ひとりの自覚が非常に重要なことであり、各行政区を単位とした地域での取組みが効果的と考えられています。

防犯関係について

今年、5月頃から、村内各地で忍び込みや空き巣、あるいは自動販売機荒らしが相次いで発生しています。犯人はまだ検挙されていません。

防犯は家庭や地域での活動が最も重要であると

考えていますので、防犯部会を中心に、全戸一斉防犯指導・診断を、昨年新たに設置した生活安全部長の協力を得て、8月中に実施しています。それぞれ地域の防犯パトロールや防犯指導・診断を実施し青少年の健全育成や地域の防犯に積極的に取り組んで、少しでも住民の地域安全の意識の高揚が図れればと考えています。

特定健康診査

6月23日から26日と8月28日・29日の6日間、国保加入の方と後期高齢者の方を対象に「いちばん館」で特定健康診査を実施しました。

さらに、9月1日・2日は社会保険の家族の方の特定健康診査を実施しました。国保、社保ともに、ほぼ計画通り実施することが出来ました。今後は、健診結果を踏まえて、保険者ごとに特

量が7月、8月は対前年比で139割と大幅に伸びましたが単価が1割ほど安くなっています。リンドウ、トルコギキョウについては、共に出荷本数については昨年を上回ったようです。しかし、取り扱い単価が思うように伸びなかったように、特にトルコギキョウについては、ハウスを利用した早出し産地が原油高騰の影響により、暖房を使わずに生産して出荷したところが多く、これらの産地と競合して値崩れが起きてしまいました。

また、急激な原油高騰により、世界的に各産業が影響を受けていますが、特に農業分野においては、農業機械の燃料をはじめ農業生産資材や家畜飼料の高騰等により農業への意欲まで奪っている状況です。

このような状況を踏まえ、昨年に引き続き原油価格高騰支援策として、

定保健指導が個別的に実施されます。併せて特定高齢者の介護予防事業も実施する予定です。

いいたてまでいいクーポン交付式

今年で3年目のクーポン交付式を、6月29日に「いちばん館」で実施しました。交付者は150世帯、195人です。地域通貨的な村独自の子育て支援に注目が寄せられているようです。

まideaな健康づくり事業

福島市の医療法人桜樹会八子医院と健康指導協定を締結しました。これは平成20年度から平成24年度までの5カ年間で、4行政区ずつ全行政区において健康づくりを展開するものです。

今年度は宮内、上飯樋、蔵平、前田の4行政区です。この事業は各行政区に積極的に向いて、運動と食生活を中心に、村

民自らが健康づくりに関心を持ち、健康づくりの機運を高める取り組みをします。

食による健康づくり

現在、「まideaで達人に」とした豆を題材にした食育を進めています。今回はその1つとして、NPO法人ユニバーサルデザイン・結との共催で「新・伝統食コンテスト」として子どもからお年寄りまでが、食べやすく、食べる楽しさが実感できる豆料理を募集しました。なお、10月25日の村健康フェスタで表彰する予定です。

飯館村第3次保健計画（5カ年）

8月5日に村健康づくり推進協議会が設置され、次期5カ年計画の策定に着手をしました。計画策定は、「自分の健康は自分で守れる」ように、来年の2月を目途に計画づくりを進めます。

2級ホームヘルパー養成講座

相馬農業高校飯館校と協定を結びました。この協定は、村が実施する2級ホームヘルパー資格講座に飯館校生の枠を確保し、就職の機会拡大を図るものです。料金も1万7000円と通常の5分の1程度と格安に設定しました。

7月20日の開講式には、36人の方が受講され、うち18人は飯館校生です。

飯館村介護保険事業計画（3カ年）

7月22日に村介護保険運営協議会を開催し、次期3カ年計画の策定作業を開始しました。

統合診療所

8月28日に村統合診療所整備検討委員会より、最終答申をいただきました。答申は諮問事項である「公設民営について」基

ところと、

もりの駅「まいころ」

春から夏にかけて農産物の出荷量も順調に推移し、懸念されていた客足も交流イベントの開催やお盆時期の野菜・切り花の需要増などにより、心配していた売上や入れ込み客数も大きな変動はなく安定した推移となっています。

村の地産地消の取り組み

6月12日に、村民17人を委員にお願いし、「まideaな地産地消を進める村民会議」を設立しました。まideaブランドの啓発普及として認証基準の設定及び認証店の選定、情報誌の発行や新たな特産品の開発に向けた準備を進めているところです。

主要道路の整備促進要望活動

村主要道路整備促進協

本的な機能について」「住民の使いやすい施設とするために」の3点についてです。この答申を受けて、村の具体的な方針を進めているところです。

農政関係

7月下旬の梅雨明け宣言後、梅雨に逆戻りしたような低温と長雨が続き農作物への被害が心配されています。

水稲は、全体として8月6日から11日に開花し既に受粉したものと思われませんが、品種によっては開花が遅い物もあり不稔障害が心配されています。これは、平均気温が21・5度のところ今年度は5度低い状況であり、米は最低気温が10度、一日の平均気温が14度を下回ると成熟しなくなることから、収穫が上がらないことが心配されています。また、野菜・花卉の出荷状況については出荷インゲンについては出荷

白石単独住宅建設工事及び駐車場整備工事

白石団地の1棟5戸、木造2階建の住宅建設工事については、順調に進み、工期どおり7月18日に竣工し、7月25日に施工業者より引渡しを受けました。現在、すでに3戸が入居しています。

台風4号及び9号の農地等災害復旧繰越

8箇所について、予定通り6月20日の工期内に完了し、農地災害13カ所、施設災害28カ所計41カ所の全てを完了しました。

親のありがたみがわかる合宿通学事業

6月と7月の2回の日程で実施しました。

親元を離れて生活全般を自らの力でやりこなし、1週間、学校に通うという子どもの自立心と家族への感謝の気持ちを養成する事業であり、子どもたちの成長に有意義な事業であると考えています。

今年度は村内の青年有志による実行委員会に運営をお願いし、それぞれに忙しい中、親身な指導をしていただきました。

プールの安全対策

小学校3校で13日間、プールの開放を行いました。今年度は、プール開放を学校行事として位置づけ、教師が必ず指導に当たることとした他、救命講習を受講したプール監視員を村独自に各校に配置し、保護者の方を含めて、常時3人ないし5

人がプールの監視に当たる体制とし、1件の事故もなく無事に終了することができました。

村としては、今年度の結果について学校より報告を受け、来年度以降の監視体制について検証していきたいと考えています。

教育講演会

小学5、6年生、中学生、相農飯館校生そして一般の方を含め400名以上の参加を得て、9月4日講師に、愛知県の宮本延春さんをお迎えして実施しました。

中学校卒業時の成績がオール1だった先生が、本人の努力と周りの支援により高校の先生になるまでのお話して、子どもたちには、目標に向かって努力する大切さを感じてもらえたものと考えています。

なお、宮本先生については、昨年、村民の方か

ら「こどもたちには是非、読んでもらいたい」と先生の書かれた本を各学校にご寄付いただいた経緯もあり、村としてもお招きする機会を探っていたところです。

思いやりまでいらリーピンポン大会

6月29日、飯館中学校体育館において「相手といかに長くラリーが続けられるか」という村独自のルールで実施し、村内外から128人が参加しました。

今年で4回目となる、大会は、夫婦の部や親子の部のほかに、仲良しの部を加え、7部門を行ったほか、「仮装部門」「ラリーピンポンラリー世界に挑戦」など新たなイベントも加え、和やかな大会になりました。

まめでたっしやに健康づくり事業

村民が日常的にスポー

ツや運動を実践し、健康づくりが図られるよう「まめでたっしやに健康づくり事業」がスタートしました。

第一弾として、7月20日に「みんなでラジオ体操」をスポーツ公園陸上競技場において実施し、早朝にもかかわらず130人が参加しました。今後は、身体チェック、シェイプアップ講習会、ウォーキング大会など、いろんなイベントや健康教室を来年3月までに実施しながら、年間を通して健康づくりが図られるように進めていきます。

海洋アドベチャースクール

今年で11回目を迎えた海洋アドベンチャースクールは、村内小学6年生、スタッフあわせて76名で、7月27日から31日まで、4泊5日の工程で実施しました。

船上体験、北海道の自

然や文化に触れ、俱知安町の子どもたちとの交流など、多くの体験や感動を得ることができました。子どもたちには、「頑張る力」「人を思いやる心」「感謝する心」をもって参加して頂き、更に、「私のチャレンジ」として、自らがチャレンジ目標を設けて、それらの目標を成し遂げるよう挑戦して頂きました。

また、今年度は、俱知安町の公共施設「風土館」の前庭に、俱知安町の子どもたちとの交流記念に「友情、思い出」が花言葉である「ライラック」の記念植樹を行いました。



▲ライラックの植樹の様子